



芦北町議会だより うたせ

第33号

平成25年
5月28日 発行



全国豊かな海づくり大会を前に、記念リレー放流（4月10日、海浦海岸）
（ヒラメの稚魚を放流する芦北幼稚園児）

- 3月定例議会…………… P2～3
- 臨時議会…………… P4
- 総務常任委員長報告…………… P5～
- 建設経済常任委員長報告…………… P6～
- 文教厚生常任委員長報告…………… P8～
- 一般質問…………… P10～13
- 議会のうごき・編集後記…………… P14



3月定例議会



3月定例会は、3月4日に招集され、15日までの12日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成25年度当初予算をはじめ、平成24年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算並びに芦北町営住宅管理条例の一部改正など36議案で、平成25年度一般会計予算については、起立による採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決し、他の議案と発議2件については、全会一致で原案のとおり可決した。また、請願1件は採決の結果不採択とし、陳情2件は継続審査とした。

町長の施政方針と予算大綱（要約）

◎社会情勢と芦北町の状況

本町では合併以後、健全財政を維持する中で、効率的・重点的な事業展開に努め、町民生活の質の向上を図ってまいりました。

現下の国内情勢を見ますと、東日本大震災と原発事故を契機としたエネルギー制約や超高齢化社会の到来といった様々な困難に直面しております。このような状況下、すべての人が安心して健康に暮らせるまちづくりを推進するため「町民生活の安全・安心の実現」を視点に合併支援策等を有効に活用しながら予算編成を行ないました。

◎予算大綱について

平成25年度予算編成におきましては、総合計画の基本理念である「個性の光る活力あるまちづくり」を実現するため、行政コストの削減及び効率化や国・県の補助事業等を活用し、持続可能な財政運営

を基本に重点的かつ効果的に財源を投入するなど、積極的な事業展開を図ることといたしました。一般会計予算総額は、98億9、800万円となり前年度当初予算に比べ1億2、500万円、1・3%の伸びとなっております。

◎主要な施策について

平成25年度当初予算案に盛り込みました主要な施策については、総合計画に定められた6つの柱の下に推進します。



①魅力的な地域づくり
「地域づくり」

②人にやさしい快適なまちづくり
「生活・福祉」

③生きがいある働き場づくり
「経済・産業」

④豊かな心の人づくり
「教育・文化・国際交流」

⑤生活を支える基盤づくり
「基盤整備」

⑥効率的な行政組織づくり
「行政組織」

◎結び

今後とも町民の皆様が、いつまでも芦北町で暮らしたいと思えるようなまちづくりを念頭に「安全で安心な暮らし」を将来にわたり提供できるように全力で取り組んでまいります。

議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成25年度 当初予算を原案可決

164億5,640万円

(金額は万円単位で表示)

会 計 名		25年度 予算額	増減額
一 般 会 計		98億9,800万円	1.3%
特 別 会 計	国民健康保険事業	34億6,140万円	△ 2.6%
	介護保険事業	20億8,630万円	4.6%
	簡易水道事業	7,500万円	△ 23.5%
	農業集落排水事業	2億1,790万円	0.4%
	生活排水処理事業	5,630万円	0.0%
	町有温泉事業	1億2,130万円	11.6%
	奨学資金貸付事業	3,070万円	2.0%
	後期高齢者医療事業	2億6,340万円	3.6%
公営企業会計(水道事業)		2億4,610万円	△ 62.6%
会 計		164億5,640万円	△ 1.7%

一般会計の予算規模は
前年比1.3%増

平成24年度 3月補正予算(一般会計)

4億3,109万円を追加

(金額は万円単位で表示)

会 計 名		補 正 額(増減)	予 算 総 額
一 般 会 計		4億3,109万円	114億8,845万円
特別会計	介護保険事業	3,971万円	20億4,463万円
	後期高齢者医療事業	231万円	2億5,900万円

主な質疑

質 農業振興費の「強い農業づくり交付金(精米機) 費補助金の減額

補正についてお尋ねしたい。

答 農林水産課長

強い農業づくり交付金費補助金1、499万1、000円の減額は、精米施設の入札残による執行残である。

質 商工業振興費「企業立地促進補助金」の

減額補正についてお尋ねしたい。

答 商工観光課長

企業立地促進補助金1、310万円の減額は、東海カーボンの減産調整による減額である。

臨時議会

平成25年芦北町議会臨時議会は、2月8日に招集され、1日間の会期で開催した。

上程された議案は、教育委員会委員の任命につき同意を求める同意1件。

また、選挙管理委員会委員及び補充員を選出した。

教育委員会委員の再任に同意



くす はら まさ ゆき
楠原 眞幸氏(佐敷)

プロフィール

平成21年2月教育委員会委員に就任され、今回で2期目となる。

選挙管理委員会

委員4氏を選出



うめ だ やす こ
梅田 安子氏(佐敷)



よし の よし こ
吉野 嘉子氏(小田浦)



うち や ま た だ み
内山 忠美氏(湯浦)



なか が わ じ ょ う じ
中川 譲司氏(大岩)

選挙管理委員会補充員4氏を選出

第1順位 よし だ しげる
吉田 茂氏

第2順位 やま ぐ ち じゅん し
山口 純志氏

第3順位 の ぐ ち ひろ し
野口 博司氏

第4順位 はや かわ じゅん い ち
早川 純一氏

総務常任委員長報告

— 抜粋 —

総務常任委員会に付託されました議案第4号「平成25年度芦北町一般会計予算」について、委員会における審査の経過並びに結果を御報告申し上げます。

平成25年度の一般会計予算総額は平成24年度比1・3%増の98億9,800万円となっており、地方交付税は、2・1%減の44億円が見込まれております。

以下、審査過程において論議された主なものについて申し上げます。

【企画財政課】

湯浦駅の利用環境向上のために駐輪場改修費が計上されています。また、国際交流事業では、ふるさとづくり基金等を活用した中高生の英国派遣などが計画されています。主な質疑として、地方交付税が下がってきているが、今後の財政運営の見通しはどの質疑に対し、合併算定替えの失効を考慮し、基金の積み増し、起債残高の減少などに努める必要があるとの答弁があった。

りました。

中高生の英国派遣事業の目的や人選方法等はその質疑に対し、急速に進展する国際社会に対応すべく、早くから外国を体験することにより国際化の推進力となる人材の育成を目的としており、英国での生活体験や、現地の子ども達との交流等を通して英国の文化・歴史について学習できるように計画している。

派遣される中高生の選考にあたっては、校長会等で十分説明し公募したのち、国際交流協会で作文や面接により選考したいとの答弁がありました。

水俣芦北フィールドミュージアム事業を2年間行った評価と効果はその質疑に対し、1年目は指導者育成の研修を行い、2年目は研修を受けられた方を講師に事業展開を行った事により、きめ細かい体験の指導ができ、参加者にも好評の事業となっている。また、新たに温泉塩施設ができるのでその体験メニューも加えたいとの答弁がありました。



湯浦駅駐輪場

【総務課】

歳入における財産収入が、高岡地区と女島地区にメガソーラーが進出したことにより大幅な増額となっています。主な質疑として、町交際費を前年度と同額計上した理由や特産品の効果はその質疑に対し、予測がつかない分があるため同額を計上した。特産品は芦北町全体として効果が上が

っているとの答弁がありました。また、町交際費について、公的な支出先の明記や月1回の広報紙への掲載、減額を検討して欲しい旨の発言がありました。

庁舎における太陽光発電施設の設定について、売電の見込み額と費用対効果はその質疑に対し、売電については検討中であるが、売電した場合に基金に積み立てる予定である。基本的には災害対策の拠点として最低限1昼夜の電気を蓄電池により確保することが目的であるとの答弁がありました。

入札について、芦北の業者のランク分けと共同企業体を組む場合にはどのように組み分けしているのかとの質疑に対し、県の点数、評価によりランク分けをしている。共同企業体については町内企業を中心に考えるが、組み分けは工事内容によって行っているとの答弁がありました。

質疑終了後、町交際費の300万円について、今年度実績が2月末で200万円ほどの執行状況であることや特産品の経費は町交際費としてはそぐわないという反対討論がありました。これに対し、この特産品は町全体のPRとなっており、見えないところで経済効果が生まれていると

いう賛成討論があり、起立による採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決することに決しました。

【議会事務局】

毎年固定的に支出される経常的な予算が主ですが、共済費の負担率が減ったことなどにより減額予算となっており

ます。主な質疑として、議長交際費が議会交際費に名称が変わった理由と、内容を透明化し毎月の公表を考えていないかという質疑に対し、議長出席は議会代表としての出席であること、要綱に基づき議長と一緒に出席した場合に係る経費も交際費の対象としていることから、議長だけでは無いという意味合いも含めたところである。交際費の公開や内容等についても要綱に基づいて年1回公表しているとの答弁がありました。

また、議会改革の条例を作りたいが、それに向けて話し合いの場を設けて欲しい。勉強会などを行い議会活性化への取り組みを進めるべきではないかという発言があり、意見集約した結果、本委員会を中心に議会運営委員会と連携を取りながら協議を進めるよう議長に申し入れることを全会一致で決定しました。

【田浦基幹支所】

水俣病特別措置法の救済申請手続きが終了したことに伴う戸籍手数料の減が見込まれ、減額計上となつていきます。

主な質疑として、基幹支所庁舎の耐震の調査・補強はどうなっているのかとの質疑に対し、以前実施した耐震調査の結果は耐震補強が必要であるとの報告があつたため、今定例会初日の平成24年度一般会計補正予算で耐震改修実施設計委託料が予算措置されているとの答弁がありました。

【税務課】

半導体関連企業等の事業環境が厳しいことから法人町民税が減額計上されています。固定資産税は、東海カーボンとテラプロープの償却資産減免額の減等により増額予算が計上され、町たばこ税も県たばこ税と町たばこ税の調整などにより増額予算が計上されています。新規事業として地方税における申告、申請、届出等の手続きをインターネットを利用して電子的に行うeLTAX（エルタックス）が計画されています。

【地籍調査室】

測量工程業務が完了したことにより、減額予算が計上さ

れています。

主な質疑として、地籍調査について、筆界未定の処理と今後の対応、地権者による境界の採め事や苦情の対応はとの質疑に対し、境界については地権者同士の合意となるので職員はタッチできない。苦情等に対しては調査時の図面をもとに地権者と一緒に現地確認しながら対応しているが、最終的には地権者同士の話し合いになるとの答弁がありました。

喫煙者が減少する中、町たばこ税が増額計上された理由はとの質疑に対し、県から町に移管されるため増収を見込んでいるとの答弁がありました。

また、滞納繰越分について、歳入に計上されている額に近づくよう徴収の努力をしていただきたい旨の発言がありました。

以上が論議されました主な内容であります。議案第4号「平成25年度芦北町一般会計予算」につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。以上で、総務常任委員会に付託されました事件の審査経過と結果報告を終わります。

建設経済常任委員長報告

一抜粋

建設経済常任委員会に付託されました事件のうち、予算関係6議案、条例関係7議案及び陳情1件について、審査の経過及び結果を御報告申し上げます。

【建設課】

新たに取組む南九州西回り自動車道建設補償事業に伴う湧水対策や町道射場芦北線改良などの主要事業について説明があり、予算計上額は、7億1,896万8千円で、対前年比1,013万8千円の増となり、委員から、湧水対策で行う伏木氏地区及び河原地区の詳細な事業内容はどのようなものかという質疑に対し、伏木氏地区は、井戸から汲み上げた水を2箇所の溜池に配水し、川に流す工事及び用地等の補償。また、小田浦の河原地区では、南九州西回り自動車道のトンネル湧水をポンプで河原川及び葉山川上流に設置する貯水槽に送水

し、川に流す工事及び用地等の補償であるとの答弁がありました。



町道射場芦北線（スカイドーム入口付近）

【商工観光課】

湯浦温泉センター改修事業及び商工業振興事業などの主要事業について説明があり、予算計上額は、5億7,049万2千円で、対前年比1億1,572万5千円の増となり、委員から、商工業振興事

業補助金2,188万1千円の詳細な内容はどのようなものかという質疑に対し、町内の緊急経済対策として、これまでも好評であつたプレミアム付地域商品券分を100万円から1,000万円に増額し、併せて、その宣伝等にかかる補助分100万円と、新規に小売業等店舗整備補助分100万円を計上しており、残りは通常の商工会への補助分等であるとの答弁がありました。

【上下水道課】

生活排水対策事業費及び飲料水供給施設費の予算計上額が2億1,927万5千円、対前年比131万3千円の増となり、委員から、飲料水供給施設では、ろ過機の設置は必要なのか。また、マンガン等が検出された場合の対応はどうするのかとの質疑に対し、ろ過機の設置義務はなく、飲料水供給施設は各水道組合等で管理されており、相談があれば指導や助言を行うとの答弁がありました。

【農林水産課】

平成24年度の繰越分を含めて牛の水漁港整備事業や水田地下水制御システム工事などの主要事業について説明があり、予算計上額は、4億9、990万4千円で、繰越分を平成24年度の補正予算に前倒しして措置したことに伴い、対前年比1億3、169万5千円の大幅な減となり、委員から、水田地下水制御システムの取組みは法人に限るのか。また、平成26年度以降の見込みはどうなのかとの質疑に対し、サラダ玉ねぎや春そばなどの裏作対策として非常に有効に思っている。施工金額が10アール当たり50万円から70万円かかるが、流動化の促進につながると思うので積極的に進め、県内有数の施工面積を目指したい。なお、法人に限らず一定の条件があるが地域の方々から要望があれば実施できるので、平成26年度以降も続けて行きたいとの答弁がありました。

【農業委員会事務局】

田浦地区の農振・農用地内の非農地判断を芦北町農業振興地域整備促進協議会に提出するとともに、吉尾・大野地区の不在地主を含めた農地利用状況調査などに取組むとの説明があり、予算計上額は、

927万9千円で、対前年比51万1千円の減となり、委員から、非農家で定年退職された方が農業を行いたい場合、どのような方法があるのかという質疑に対し、農地法では芦北町の場合、農地取得の下限面積は40アールであり、営農計画書が必要であるが、利用権設定による農地の借地もできるとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第4号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第7号「平成25年度芦北町簡易水道事業特別会計予算」について申し上げます。

平成25年度は、老朽化した施設の更新と併せて耐震化を図るため、田浦地区簡易水道改修事業などを行うとの説明があり、予算計上額は、7、500万円で、対前年比2、300万円の減となり、委員から、田浦地区での詳細な事業内容はどのようなものかという質疑に対し、宮田水源地の管理棟、取水ポンプ、送水ポンプ及び電気計装設備等の更新を行うとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第7号については

全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



宮 田 水 源 地

次に、議案第8号「平成25年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」について申し上げます。

平成25年度も脱水車等による汚泥の搬出コスト削減及び管路の不明水調査などを継続して取組むとの説明があり、予算計上額は、2億1、79

0万円で、対前年比90万円の増となり、委員から、これまでの不明水調査で、主な原因が分かっているのか。それは、当初の工事とは関係ないのかとの質疑に対し、主な不明水は、取付管継手及びマンホール継手からであり、外部からの衝撃を受けやすい所であるため、工事の不良ではないとの答弁がありました。

議案第8号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第9号「平成25年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」について申し上げます。

平成25年度も市町村設置型の浄化槽741基に対する維持管理が主なものであるとの説明があり、予算計上額は、5、630万円で、前年度と同額になっており、委員から、浄化槽法定検査手数料が765基分とあつたが、この差は何かという質疑に対し、現在、使用を休止されている浄化槽を含んでいるためであるとの答弁がありました。

議案第9号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第10号「平成25年度芦北町有温泉事業特別会計

予算」について申し上げます。

平成25年度は、ヘルシーパークの浴室天井張替えやトイレ改修などを行い、また、湯浦温泉センターは改修工事期間中、休業するとの説明があり、委員から、大野温泉は指定管理者がJAに変わり経営改善されていると思うが、委託料が前年と同額であるのは何故かとの質疑に対し、町とJAの協定が3年継続のためであるとの答弁がありました。

議案第10号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第13号「平成25年度芦北町水道事業会計予算」について申し上げます。

平成25年度は、城山配水池の完成後に旧配水池の解体工事などを行うとの説明があり、委員から、収益的収入の消費税還付金は何かとの質疑に対し、前年度に大規模な工事を行っており、水道使用料に含めて受けた消費税より工事費等に含めて支払った消費税が多くなっているため、還付されるとの答弁がありました。

議案第13号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

文教厚生常任委員長報告

—抜粋—

3月4日の本会議において、文教厚生常任委員会に付託されました予算関係5議案と条例の制定5議案について、審査の経過及び結果を御報告申し上げます。

はじめに、議案第4号「平成25年度芦北町一般会計予算」について申し上げます。

【福祉課】

民生費予算総額は、前年度に対し4、921万9千円増の16億6、014万9千円となっております。

増額の主な要因としては、子ども医療費の実績見込みや児童手当が制度改正により減額となった一方、障害者自立支援法の改正により、18歳以上の障害児施設等に係る事務の権限移譲により、障害者自立支援給付費等扶助費が増加したことや保育所の修繕工事費の増が要因であるとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正される

が、どう変わるのかとの質疑については、運用自体は変わらないが障害者の範囲の見直しで難病が追加され、重度訪問介護の対象も拡大された。また、地域生活支援事業のメニューが増えたとの答弁がありました。

次に、水俣・芦北地域見守り活動推進事業の内容については、質疑があり、これについては、地域福祉座談会を5箇所で開催予定であり、熊本県見守り応援隊の模擬訓練も事業の一部として実施するとの説明がありました。また、町立保育所の民営化関係予算に関連して、1・2月に開催した保護者、職員、区長等への民営化方針素案説明会の状況について報告があり、民営化の見通しや職員の処遇、民営化後の保育内容などについて質疑が行われたが、民営化に対する反対意見は出されていないということでありました。

今後の民営化に向けた事務につきましては、3月中旬に2回目の保護者説明会を開催予

定であり、民営化方針については、3月中旬に決定し、その方針に沿って民営化事務を進めたいという説明がありました。



民営化が進む3保育所（写真：湯浦保育所）

【住民生活課】

予算総額は人件費を除いて16億1、459万9千円で前年度に対し、1億4、521万9千円の減となっております。

減額の主な要因としては、

平成23年度から進めてきました女島活力推進センター建設工事や東部保健福祉センター体育館の解体工事が完了したことによるものであるとの説明がありました。

「町民の健康づくり」を本年度の最重要施策として推進するため、組織の強化、各種保健施策の強力な展開及び住民意識の啓発に取組み、全町的な健康づくり推進運動の展開を図って行くとの説明がありました。

質疑の主なものを申し上げますと、女島活力推進センターの今後の運営見直しについての質疑では、多目的環境学習広場の整備や花公園、メガソーラー研修来訪者の受入れなど地域内はもとより広く活用を図っていききたいとの答弁がありました。

また、ごみステーション内のごみの分別状況についての質疑では、水俣芦北地域はごみの分別においては先進地であり、22品目に分別しており、これまでの啓発活動等により住民の理解も得られ適正に処理されている。今後も更なる分別の徹底を図り、リサイクル率を上げるべく広報等により啓発していききたいとの答弁がありました。

【教育課】

平成25年度の人件費を除いた予算総額は、2億5、574万4千円で対前年度比1・8%、457万5千円の減となっております。減額の主な理由については、24年度は中学校の教科書改定に伴い教師用教科書・指導書の購入がありました。その分が減額となっております。

本年度の重点事業として、ICT機器の有効活用では、一般教室への液晶テレビ型デジタル黒板の購入費が計上されております。また、気になる児童生徒への支援及び不登校対策として支援員の経費や中学校に防犯カメラの設置及び大野中学校が26年度統合されることに伴いスクールバス



健康増進事業（選べるがん検診）



液晶テレビ型デジタル黒板を使った授業

の購入費等が計上されております。
主な質疑を申し上げます。
不登校、いじめの状況について質疑があり、これについては、不登校対策支援員2名を配置し対応している。現在、長期不登校児童生徒はいない。また、いじめについては、事案が発覚した場合は、学校で情報を共有し早急に対応することになっているとの答弁がありました。
防犯カメラについては、中学校3校に設置予定でありますが、未設置の小学校についても早急に設置してほしい。また、小中学校のエアコン設置に係る設計委託料が計上されているが、教育環境充実の観点から積極的に取組んでほしいとの要望がありました。

【生涯学習課】

前年度に対し843万円増の3億3,434万4千円が計上されております。

増額の主な要因については、生涯学習センター及び体育施設の修繕、工事費等の増によるものであるとの説明がありました。

新規事業としては、町指定文化財の「東の城」跡を県文化課と連携し、文化庁の補助を受けて航空レーザによる測量を実施することです。

また、体育振興では、本年度から7地域体育協会による町民体育祭の開催や温泉プールでは、20周年記念事業の開催を予定しているとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。社会教育施設の耐震については、どのような計画になっているのかとの質疑では、総務課の耐震診断、改修工事計画に伴って協議しながら対応するとの答弁がありました。また、温泉プールの20周年記念事業の内容についての質疑では、ロンドンオリンピックメダリストの松田丈志選手と久世コーチを招聘し、技術指導や講演会を予定しているとの説明がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、当委員会にかかります議案第4号「平成25年度芦北町一般会計予算」については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



20周年を迎えた温泉プール

国保連合会へ納付する共同事業拠出金の減によるものであるとの説明がありました。

直診勘定については、予算総額は5,960万円、前年度より540万円の減となつております。減額の要因は備品購入費の減によるものとの説明がありました。

委員からは、保険給付費で一般被保険者に係る医療費が1,500万円程減っているが、その要因について質疑があり、これについては、一般被保険者数の減が要因であるとの答弁がありました。また、一般被保険者数が減った分は後期高齢者医療へ移行するため、後期高齢者に係る医療費が増えるとの説明がありました。

質疑終了後は討論もなく、議案第5号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第6号「平成25年度芦北町介護保険事業特別会計予算」について申し上げます。予算総額は、20億8,630万円で、グループホーム3施設の事業開始などによる介護サービス受給者の増加等により前年度に対し、9,200万円の増となっております。

説明の後は、質疑、討論もなく、議案第6号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第11号「平成25年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」について申し上げます。予算総額は、3,070万円で、前年度に対し60万円の増となっております。

高校の新規借入れが少ないのは何故かという質疑に対しては、国の政策で、高校の授業料無償化がその理由であるという答弁がありました。

質疑終了後は討論もなく、議案第11号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第12号「平成25年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」について申し上げます。予算総額は2億6,340万円で、低所得者に対する保険料軽減分の増などにより、前年度に対し920万円の増となっております。

説明の後は質疑、討論もなく、議案第12号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。